



## 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 株式会社ブリヂストン

上場取引所 東大名福

コード番号 5108 URL <http://www.bridgestone.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 CEO

(氏名) 津谷 正明

問合せ先責任者 (役職名) 資金部長

(氏名) 中村 賢史

TEL 03-3563-6985

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,226,321	△0.4	204,274	42.5	196,784	51.5	115,871	41.4
23年12月期第3四半期	2,234,433	6.8	143,399	26.4	129,866	28.7	81,952	22.8

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 140,782百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 10,043百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	148.05	147.94
23年12月期第3四半期	104.71	104.66

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,792,239	1,282,759	44.5
23年12月期	2,677,344	1,165,673	42.2

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,243,691百万円 23年12月期 1,130,577百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年12月期	—	16.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,130,000	3.5	287,000	50.0	269,000	50.0	172,000	67.0	219.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	813,102,321 株	23年12月期	813,102,321 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	30,442,932 株	23年12月期	30,441,046 株
-----------	--------------	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	782,661,718 株	23年12月期3Q	782,662,324 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(2) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 業績全般

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	
			金額	比率
	億円	億円	億円	%
売上高	22,263	22,344	△81	－
営業利益	2,042	1,433	+608	+42
経常利益	1,967	1,298	+669	+52
四半期純利益	1,158	819	+339	+41

当第3四半期連結累計期間(2012年1月1日から2012年9月30日)の当社グループを取り巻く環境は、原材料・素材価格が総じて高値で推移し、為替は円高が継続する中、国内においては、景気は復興需要や車両販売回復の動きなど持ち直しの動きもありましたが、世界経済の減速を背景として、回復の動きに足踏みが見られました。海外においては、景気は全体として減速の動きが広がっており、米国では一進一退を繰り返している状況にあり、欧州では財政危機が実体経済に影響を及ぼし厳しい状況が続きました。また、アジアにおいても、中国やインドでは、景気の拡大テンポに鈍化傾向が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「タイヤ会社・ゴム会社として名実共に世界一の地位の確立」、それら他社の追従を許さない「断トツ」の達成に向け、グローバルで高い競争力を持つ商品の拡販や供給能力の増強、生産性の向上、技術優位性の強化、そして経営資源の効率的活用などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、事業環境の変化がかつてない速さで進行する中、市場の需要動向への迅速な対応を進めるとともに、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大、環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は22,263億円(前年同期並)となり、営業利益は2,042億円(前年同期比42%増)、経常利益は1,967億円(前年同期比52%増)、四半期純利益は1,158億円(前年同期比41%増)となりました。

## ② セグメント別業績

		当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	
				金額	比率
タイヤ部門	売上高	18,603 億円	18,701 億円	△98 億円	△1 %
	営業利益	1,854	1,360	+494	+36
多角化部門	売上高	3,789	3,757	+32	+1
	営業利益	187	73	+114	+156
連結 合計	売上高	22,263	22,344	△81	—
	営業利益	2,042	1,433	+608	+42

タイヤ部門では、国内外市場において魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、市販用が前年同期を下回りましたが、新車用は自動車生産台数が回復した影響により前年同期を上回り順調に推移しました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が減少した影響により前年同期を大幅に下回りました。米州では、北米タイヤ事業における乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期並に推移しました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が減少した影響が大きく前年同期を下回りました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤ、トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が減少した影響が大きく前年同期を大幅に下回りました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り好調に推移しました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、市販用が減少した影響により前年同期を下回りました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を大幅に下回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用大型・超大型ラジアルタイヤの販売本数は、生産能力増強の効果もあり前年同期を上回り順調に推移しました。この結果、売上高は18,603億円(前年同期比1%減)となり、営業利益は1,854億円(前年同期比36%増)となりました。

多角化部門では、売上高は3,789億円(前年同期比1%増)となり、営業利益は国内事業やBSAM多角化における利益増加の影響により187億円(前年同期比156%増)となりました。

(注) セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産の部は、受取手形及び売掛金が264億円減少したものの、現金及び預金が494億円、商品及び製品が308億円、有形固定資産が211億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,148億円増加し、27,922億円となりました。

(負債の部)

負債の部は、短期借入金が371億円増加したものの、未払金が393億円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ21億円減少し、15,094億円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、配当金の支払いにより219億円減少したものの、四半期純利益の計上1,158億円、その他有価証券評価差額金が121億円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,170億円増加し、12,827億円となりました。その結果、自己資本比率は44.5%となり、前連結会計年度末に比べ2.3ポイントの増加となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

前回発表時(2012年8月7日)の予想を変更していません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

### (2) 追加情報

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 2009年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 2009年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	130,343	179,820
受取手形及び売掛金	438,764	412,344
有価証券	90,133	107,996
商品及び製品	314,454	345,332
仕掛品	34,614	38,585
原材料及び貯蔵品	171,411	165,311
その他	152,102	163,871
貸倒引当金	△8,109	△7,834
流動資産合計	1,323,716	1,405,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	322,704	327,456
機械装置及び運搬具（純額）	347,195	331,565
その他（純額）	311,432	343,425
有形固定資産合計	981,331	1,002,447
無形固定資産	27,943	29,861
投資その他の資産		
投資有価証券	182,536	192,741
その他	165,116	165,663
貸倒引当金	△3,299	△3,901
投資その他の資産合計	344,353	354,503
固定資産合計	1,353,628	1,386,811
資産合計	2,677,344	2,792,239

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,742	171,161
短期借入金	198,115	235,243
コマーシャル・ペーパー	18,933	35,835
1年内償還予定の社債	13,174	59,336
リース債務	754	941
未払法人税等	22,854	44,635
未払金	148,756	109,448
その他	198,398	215,223
流動負債合計	797,730	871,827
固定負債		
社債	123,079	66,721
長期借入金	238,474	234,602
リース債務	10,061	10,367
退職給付引当金	257,630	246,078
その他	84,694	79,882
固定負債合計	713,940	637,652
負債合計	1,511,671	1,509,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	122,629	122,628
利益剰余金	1,279,978	1,373,966
自己株式	△57,248	△57,252
株主資本合計	1,471,713	1,565,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,750	109,854
繰延ヘッジ損益	△890	△757
為替換算調整勘定	△331,784	△330,211
在外会社の退職給付債務等調整額	△106,211	△100,890
その他の包括利益累計額合計	△341,135	△322,004
新株予約権	770	1,100
少数株主持分	34,324	37,967
純資産合計	1,165,673	1,282,759
負債純資産合計	2,677,344	2,792,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)
売上高	2,234,433	2,226,321
売上原価	1,545,876	1,479,100
売上総利益	688,557	747,220
販売費及び一般管理費		
販売運賃	99,570	92,964
広告宣伝費及び販売促進費	63,579	63,445
給料手当及び賞与	140,227	143,641
退職給付費用	10,118	11,944
減価償却費	17,373	17,693
研究開発費	62,054	61,857
その他	152,234	151,400
販売費及び一般管理費合計	545,158	542,945
営業利益	143,399	204,274
営業外収益		
受取利息	3,035	2,510
受取配当金	3,112	4,071
雑収入	10,612	12,435
営業外収益合計	16,759	19,017
営業外費用		
支払利息	12,593	12,862
為替差損	3,600	2,952
雑損失	14,098	10,691
営業外費用合計	30,292	26,507
経常利益	129,866	196,784
特別利益		
固定資産売却益	6,114	—
特別利益合計	6,114	—
特別損失		
減損損失	4,705	12,505
災害による損失	2,462	—
事業撤退損	—	2,903
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,471	—
米国独占禁止法及び米国海外腐敗行為防止法関連損失	2,149	—
特別損失合計	11,788	15,408
税金等調整前四半期純利益	124,192	181,376
法人税等	38,100	59,639
少数株主損益調整前四半期純利益	86,092	121,737
少数株主利益	4,139	5,865
四半期純利益	81,952	115,871

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86,092	121,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,681	12,101
繰延ヘッジ損益	138	199
為替換算調整勘定	△59,906	936
在外会社の退職給付債務等調整額	8,560	5,320
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,159	486
その他の包括利益合計	△76,048	19,045
四半期包括利益	10,043	140,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,289	135,002
少数株主に係る四半期包括利益	1,754	5,780

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2011年1月1日 至 2011年9月30日）

(単位：百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,868,199	366,234	2,234,433	—	2,234,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,905	9,478	11,384	△11,384	—
計	1,870,105	375,712	2,245,817	△11,384	2,234,433
セグメント利益(営業利益)	136,047	7,349	143,396	3	143,399

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第3四半期連結累計期間（自 2012年1月1日 至 2012年9月30日）

(単位：百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,857,931	368,389	2,226,321	—	2,226,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,373	10,532	12,905	△12,905	—
計	1,860,305	378,921	2,239,226	△12,905	2,226,321
セグメント利益(営業利益)	185,471	18,787	204,259	15	204,274

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。